

# 平成30年度 学校評価報告書

学校名	三田市立狭間中学校
-----	-----------

## 1 学校教育目標

人間尊重を基盤とし、確かな学力と豊かな心でたくましく生きる生徒の育成
------------------------------------

## 2 今年度の学校重点目標

1. 学力向上	2. 生徒の人権が尊重される学校づくり
3. 開かれた学校づくり	4. 生徒理解に基づく生徒指導の推進
5. 教職員の実践的指導力の向上	6. 働きやすい職場環境の整備

## 3 総合的な自己評価

生徒は規律正しい生活を送り、授業も集中して取り組むなど、全体的に見て概ね良好である。次年度も落ち着いた生活環境の中で、「わかりやすい授業」や「基礎学力の定着」を重点課題として取り組む。また、全教職員で生徒理解に努め、安全で安心した学校生活を前提に、一人一人の生徒が活躍できる機会と場を設けることや部活動の充実にも努める。
--

## 4 総合的な学校関係者評価

学校生活全般において概ね良好と考える。生徒は規律正しい生活に高い意識を持ち、教員も「主体的・対話的で深い学び」などの新たな授業形態を推進して授業力の向上に努めている。今後は、保護者の要望でもある基礎学力の定着と健康管理や安全教育に取り組む、正しい生徒理解による適切な指導に心掛け、安全で安心した学校生活に努めること。
--

## 5 評価結果

自己評価		学校関係者評価		
分野・領域	評価項目(取組内容)	評価結果及び分析	改善の方策	学校関係者評価委員会の意見
教育課程	・年間の標準授業時数を確保する	・弾力的に時間割を編成し標準授業時数を確保している。 ・学校行事は内容を検討し限られた時間の中で工夫して実施している。	・教科に偏りのない授業時数の確保に努める。 ・常に教育活動の見直しや精選を行いながら、新たな教育活動については、三田市の教育方針を鑑み、吟味して計画的に実施していく。	・日々、授業計画を見直し、工夫しながら授業時数を確保している。 ・コミュニティ・スクールの特長を生かし、地域住民を活用した教育活動を今後も推進すること。また、保・幼・小・中の連携した取り組みも充実させていくこと。
	・教育活動を見直し、精選と充実を図る			
	・適切で充実した学校行事を実施する			
学習指導	・わかる授業で「確かな学力」を向上させる	・新学習システムの授業を3教科で実施している。 ・放課後や夏季休業中等で学習相談を行っている。 ・人間尊重を基盤に学校生活全般で指導している。	・各教科で授業力の向上に努める。 ・日々の授業において基礎学力が定着するように工夫と改善を行う。 ・学習相談の在り方や質問できる機会の設定など、個に応じた対応や新たな取り組みを検討する。	・教科の指導と評価については、授業研究を積み重ねるとともに、各教科の評価基準を明確にして学力の向上に努めること。 ・基礎学力の定着に向けては、3年間見通して系統立てた取り組みを、全学年で統一して実施できるように検討すること。
	・基礎的学力の定着を図る			
	・命や人権を大切にすることを育てる			
生徒指導	・規律正しく、落ち着いた生活を確保する	・生徒は規律正しく落ち着いた生活を送っている。 ・「生活アンケート」や教育相談等のあらゆる手段で生徒理解と問題の早期発見に努め、問題解決には組織を機能させて適時・適切に指導している。	・休み時間や給食準備時間の過ごし方を生徒とともに考え、改善する。 ・いじめは、いつでもどこでも誰にでも起こる問題として捉え、全教職員で日々の言動に注意を払う。 ・学級活動を中心に、教育活動全般を通して生徒一人一人に自己有用感を感じさせ、自尊感情を高める。	・生徒の規律正しい生活への意識も高く、落ち着いた学校生活が維持できている。 ・今後も多様な側面から生徒の理解に努め、いじめ等の対応については、チーム学校で継続した指導にあたること。 ・個々の生徒が活躍できる機会と場は設定されている。生徒自身が自分の価値を感じられるような働きかけが必要である。
	・いじめや暴力を許さない学校文化を創る			
	・教育相談を充実させ、生徒理解に努める			
	・個々の生徒が認められ活躍できる学級・学年活動を行う			
安全・保健管理	・安全で安心な生活環境を整備する	・毎月1回、全教職員で施設や設備の安全点検を行っている。 ・年2回、防犯教室を実施し体調管理や登下校の安全等にも日々努めている。	・安全点検に加えて、生徒に快適な生活環境の意識を持たせ、教職員とともに環境美化にも努めさせる。 ・ネット犯罪から身を守り、トラブルに巻き込まれない知恵と態度を身に付ける安全教育を継続実施する。	・通学カバンへの負担軽減について、早急に対応する必要がある。教室を整備し、教科書等を学校に保管する等の具体的な対策を検討し、実施すること。 ・今後もネット犯罪等の講演会を定期的実施するなど、安全教育に努めること。
	・危険回避の安全教育と安全指導に努める			
保護者や地域との連携	・学校や生徒の様子をわかりやすく伝える	・ホームページや情報発信メールを活用し、学校の様子を紹介している。 ・年2回のオープンスクール等、授業参観(3回)の機会を設けている。	・ホームページでは幅広い情報を発信するとともに学年・学級通信等の充実にも努める。 ・学校行事や活動報告会以外の生徒向けの講演会等もお知らせして保護者の参観を働きかける。	・ホームページと学級便り等の通信の両面で、学校生活の情報を保護者に提供するように努めること。 ・保護者が参加しやすいように、案内はできるだけ早く発行し、休日開催など、曜日や時間も検討すること。
	・学校行事などで、学校を開放する機会を設ける			
研究・研修	・研究テーマを設け、実践的指導力の向上に努める	・「生きて働く言葉の力」をテーマとし、教科以外にも取り組みを広げていった。	・「主体的・対話的で深い学び」等の新たな授業形態を取り入れ、個々の実践的指導力を向上させる。	・新たな授業形態など、校内の授業研究を更に充実させ、全教員の実践的指導力が向上できるように努めること。
職場環境の整備	・定時退勤日やノー部活デーを徹底させる	・ノー部活デーは完全実施できているが、定時退勤日は徹底できていない。 ・ハラスメントは、日頃の言動に気を配りながら、研修と自己点検を行っている。	・定時退勤日については、教職員の意識改革とともに、保護者にも理解を求めながら実施を進める。 ・定期的に研修を行い、自己点検するとともに、ハラスメントを許さない職場の雰囲気づくりに努める。	・生徒に向き合う時間を確保するためにも、教職員の業務改善は必要である。保護者に理解を求めながら改善を推進すること。 ・ハラスメントを許さない教職員関係は、適切で信頼される生徒指導につながる。今後も自己点検に努めること。
	・ハラスメントのない働きやすい職場づくりに努める			

## 6 学校自己評価の実施状況について

時期	内容
4月2日	今年度の学校教育目標や重点目標の確認
5月14日	今年度の重点目標や具体的な取組内容の確認
12月10日	全教職員を対象にアンケート調査
12月10日	全生徒を対象にアンケート調査
12月25日	全保護者を対象にアンケート調査
1月8日	アンケート結果等から成果と改善点を確認

## 7 学校関係者評価委員会の活動について

時期	内容
7月8日	今年度の重点目標や取組内容・学校評価の手順等の説明
9月15日	体育大会の視察
10月20日	オープンスクールの視察・学校自己評価の中間報告
11月3日	文化祭の視察
1月12日	自己評価の結果と改善点等の説明 意見の聴取
1月25日	オープンスクールの視察

## 8 学校評価の公表について

時期	手段	内容	添付
4月17日	学校通信・学校ホームページ	今年度の学力向上指導改善プランから重点目標や取組内容を説明	○
4月21日	P T A総会	今年度の重点目標や取組内容の説明	
1月15日	学校通信・学校ホームページ	今年度の取組内容(自己評価)の成果と改善点を報告	○
2月1日	学校ホームページ	学校評価報告書(自己評価及び学校関係者評価)の報告	○